



伊豆中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第 2543 回例会
2018.08.21 (火) 於 サンバレー富士見

事務所 静岡県三島市中央町 4 番 9 号 小野住環境ビル 2F
TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352
例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564

URL www.izuchuo-rc.org

写真：雲見 烏帽子山 (伊豆半島ジオパーク)

2018-19

RI 会長 バリー・ラシン ガバナー 星野喜忠
会長 古藤田博澄 幹事 水谷隆一
会報委員会 土田 哲・長友範充

SAA 中山 博司 S.L. 原田 精治

斉唱 それでこそロータリー

会長挨拶

会長 古藤田博澄



8月8日は4クラブ合同によるガバナー公式訪問でした。

例会前の約一時間、星野ガバナーと西原ガバナー補佐、伊豆中央は会長幹事と小島副会長出席のもと面談が行われました。

星野ガバナーからの話の要点は、第一に『会員増強』、弊クラブの現状としてここ数年減少傾向であることに触れ、会員数 25 名 (現在 23 名) をなんとかキープしていきましょう。との話がありました。

第二は、会員増強に関連することでもありますが『公共イメージの向上』でした。地元の静岡新聞、伊豆日日新聞へクラブ活動のニュースリリースをこまめに出して、記事にもらうことでクラブの存在価値を広く一般に知らしめることで増強につなげていきましょう。面談の中で、私の方から 8 月 2 日と 3 日に実施した西日本豪雨災害募金の掲載記事を提出、合わせて、8 月下旬オープン予定の『伊豆総ミュージアム』の紹介をいたしました。星野ガバナーからは、2020 オリンピック、伊豆世界ジオパーク等に積極的にかかわり、ロータリークラブとして地域の未来に向けた活動、すなわちインスピレーションにろう！の先駆的役割を果たして欲しい旨の話がありました。

第三は、RLIの件です。これは、卓話でも語られた通り、日本のロータリー100年を迎えるにあたり、次の100年をつくるための、人材育成への取り組みであること。地区大会の初日には重点的に研修を行うことを熱く語られました。

星野ガバナーとの面談は、大変有意義な時間でした。

さて、本日は会員増強・地区財団セミナー報告です。よろしくお祈りします。

慶事発表

・会員誕生日：8月25日 小野 憲

幹事報告

幹事 水谷隆一

- ・次週例会は相模原西 RC より 5 名様のご来訪されます。お出迎え等宜しくお祈り致します。
- ・西日本豪雨災害義援金、募金と合わせて 10 万円をガバナー事務所に送金致しました。
- ・2005-6 年度鈴木亀雄パストガバナーの訃報が届きました。ご報告致します。

出席報告

副委員長 小林貞夫


	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	16/22 名	72.73%	21/22 名	95.45%
今回	15/22 名	68.18%	会員総数	23 名

・今回の欠席者：飯田健吾・小島昭男・土田 哲
雨宮演邦・小野 信・土屋雄三

・前々回の MU 者：土屋雄三 (7/20 せせらぎ三島 RC)
紀平幸一 (8/8 三島 RC)
雨宮演邦 (8/9 三島西 RC)
木内昭夫 (8/10 裾野 RC)
土田 哲 (7/31 北海道 E クラブ)

スマイル報告

親睦友好委員会 原田精治

	本日のスマイル	1,000 円
	スマイルの累計	36,000 円

・紀平幸一：ご無沙汰致しました。

西日本豪雨災害支援募金活動報告

社会奉仕委員長 山口和拓



8月3日には、猛暑の中での募金活動、お疲れ様でした。大人の方をはじめ、子供たちがお財布の中から貴重なお小遣いを寄付してくれました。本当に、胸がいっぱいになりました。寄付していただいた皆様に心より感謝申し上げます。

8月5日13時より、飯田晃司様立会いのもと募金箱を開封し集計させていただきました。お預かりした募金は、伊豆の国市狩野川花火大会のお客様のお名前にて静岡新聞の義援金受付事務局へ送らせていただきます。ありがとうございました。

募金箱総合計 55,388円

地区セミナー報告

地区財団セミナー報告

ロータリー財団委員長 石井政一



ロータリー財団は、1917年にアーチ・クランプの提言と26.5ドルという小さな寄付でスタートしました。2017年6月には、発祥の地アトランタで100周年を祝うセレモニーが大々的に行われました。

ロータリー財団はロータリアンの寄付により維持されていますが、年次基金・恒久基金・ポリオプラスなどその他の寄付に分類されます。その年次寄付は幅広くロータリー活動を支えます。寄付から3年後、寄付額の半分が地区財団活動資金(DDF)として地区に還元されます。ロータリーにとって“年次基金寄付”は大変重要です。

地区会員増強セミナー報告

会員増強委員会 山口和拓



暑い日が続く中、7月14日に富士吉田市民会館で開催されたセミナーに参加してきました。星野ガバナーのお話では、ガバナー所属の大月RCは15名の弱小クラブなので、各セクションを分区内に担当クラブ決めて、全面的に受け持つてもらっているそうです。増強委員会を受け持つ富士吉田RCは、分区の中でも55名規模の最強クラブで、昔ガバナーも輩出しているだけあって、セミナーはスムーズに時間通り進行されました。兎に角、仲間を誘うには自分のクラブに自信が無ければ始まりません。中身が充実してないのに宣伝しても人は集まりません。ロータリアンという言葉に込められたあらゆる意味は非常に重い物

です。例会に来るのが楽しみになるように、私たちは、知恵を出し合い協力しましょう。多様性を認めない発言者がまかり通る世の中ではいけません。みんなロータリアンになって勉強してほしいものです